

標 題： Urinary Excretion of Olive oil phenols and Their Metabolites in Humans
オリーブ油のフェノールおよびその代謝物のヒトにおける尿排泄

著 者： D. Caruso, et al. (イタリア ミラノ大学 薬学部)

掲 載 誌： Metabolism 50: 1426-1428 (2001)

要 旨： バージンオリーブ油の主な抗酸化成分の1つであるヒドロキシチロソール(3,4-ジヒドロキシフェニルエタノール; HT)の生体利用効率を、我々は最近ヒトで実証した。

特にこの化合物は、アテローム性動脈硬化プロセスに関連するリポタンパクに存在し、主としてグルクロニド抱合体として尿に排泄されると、我々は報告した。

本研究の目的は、バージンオリーブ油摂取後のヒドロキシチロソールの代謝運命をヒトで解明することである。

バージンオリーブ油投与後に、健康なボランティアの24時間の尿を集め、ヒドロキシチロソールおよびその代謝物のホモバニリンアルコール(HVA1c)およびホモバニリン酸(HVA)を確認して定量するために、ガスクロマトグラフィー質量分析に供した。

カテコールアミン分解に関与する酵素カテコール-O-メチルトランスフェラーゼの作用をこの化合物は受けて、HVA1cの排泄が高まると結果が示している。

我々はまたHVAの有意な増加を認めたので、ヒトにおけるヒドロキシチロソールおよび/またはHVA1cのエタノール残基の酸化を示した。

両方の代謝物の排泄は、ヒドロキシチロソールの投与量と有意に相関した。
